

ミスタープロ野球、長嶋茂雄さんが2025年6月3日に永眠した。その日、電車の中で、スマホの画面のニュースを読みながら、胸に込みあげるような思いがわいてきた。ジャイアンツ・ファンというわけではない(ひいきの球団はない)。現役選手としての姿は、小学生だった頃の記憶にわずかに残るくらいで、むしろ監督時代の姿をよく覚えている。

どちらの姿もリアルタイムで見たことがないだろう学生の皆さんはピンと来ないかもしれないが、現在の中高年以上を中心とした多くの日本人に愛され、親しまれた。プレイヤーとしてのガッツにあふれた存在感、朗らかな態度、独特のキャラクターが、ひととき特別な存在として広く受け止められていた。

長男で元プロ野球選手の一茂さんは「長嶋茂雄は野球の星に帰りました」と追悼の言葉をささげている。

自分が小学校に上がる前、初めて袖を通した少年野球のユニフォームの背番号が、長嶋さんの現役時代と同じ「3」だったことを思いだした。きっと好きで選んだ番号だったのだろう。同じ数字の子供はほかにも大勢いた。昔は店の靴箱や傘立てなどが決まって3番から埋まっていたという話も、長嶋さんの訃報の後にニュースになっていた。

サザンオールスターズの楽曲に、長嶋さんへの敬意が込められた作品がある。この世の大半の万象はメッキが剥がれていき、信じるに足るものはあまりないといった内容の歌詞を含んでいる。歌の中の「栄光の男」はメッキが剥がれなかった稀有な存在として称えられている。そうとしか個人的には聞こえない。

来年2026年は冬季五輪とサッカー・ワールドカップの年となる。中大生や卒業生で目標に定めている人がいる。星のような輝きを放つ人が現れることを期待したい。

長嶋茂雄さんのご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

(編集長 北村 豊)

[STAFF]

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、学友会、経理研究所、委員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：倉塚凜々子(国際経営4)、小保方愛香(法4)、高橋璃々(経済4)、合志瑠夏(経済4)、酒井優実(商4)、吉田未来(理工4)、三浦菜々花(国際経営4)、鈴木萌結(国際経営4)、北村結(総合政策4)、小西結音(総合政策4)、上原希成(国際情報4)、金岡千聖(商3)、池田さくら(文3)、高橋来佳(文3)、木村結(法3)、渡邊弘将(国際経営3)、小林莉子(国際情報3)、松岡響紀(経済2)、伊橋佳七(経済2)、西桃香(経済2)、渡木彩文(文2)、九十歩胡春(文2)、荒田智海(文2)=順不同

■制作協力：株式会社トリッド

**Web版
「HAKUMON Chuo」は
こちらから閲覧
できます。**




**NEXT
ISSUE**

「HAKUMON Chuo」2025 秋冬号
No.287 2025年11月27日発行予定

2025 夏号 No.286
2025(令和7)年7月23日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか?

Would you be
a student reporter?



(申し込み・問い合わせ)
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail: hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

**「HAKUMON Chuo」は
中大生が取材・編集する大学広報誌です。
現在、学部在学学生を対象に学生記者を募集しています。**

メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です!

メリット
2

取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。

メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見=2023年10月26日、多摩キャンパス